

## 1. 短期的な検討事項・・・1～3カ年程度で検討を行い、実現の可否を判断の上、順次実施

### (1) VSAT局を含めたLascom網の国家戦略上の定義付け

→ 国への働きかけ(H27～、28年度予算・地方財政対策で反映)

### (2) 市町村局・消防本部局(VSAT局)整備の促進(廃局への歯止め)

- ① 市町村局整備必要性の周知 → VSAT局整備・維持に対するスタンスを定め、市町村・消防本部等に周知
- ② 調達方法の多様化の検討 → ユーザーが導入しやすい環境創出の検討(Lascom一括購入方式等)
- ③ VSATの小型化・低価格化の検討 → コスト低減化・容易な操作性の追求(技術検討部会)
- ④ 新たな用途の開発(普段づかいの促進) → 水門遠隔監視制御、避難所等における可搬式VSATの備蓄等
- ⑤ 整備・運用に伴う財政支援等の拡充 → 国への要望(H27～、28年度予算・地財対策で反映)

### (3) LGWANでの活用

- ① 市町村のバックアップ回線としての活用検討(技術検討部会)
- ② 「行政専用連絡網」の展開検討(個人通信サービスの用途拡大・技術検討部会)  
→ 「通信ツール」として積極的に利用

### (4) ユーザー(地方公共団体)との連携強化

- ① 「担当課長会」の設置 → 積極的な情報交換の実施、ニーズの反映、国等への要望の集約
- ② 各種媒体を活用した効果的な情報発信 → HPの改修(H27)、体制の構築
- ③ コンサルタント業務導入 → 新たなサービスやニーズを発掘・提案する機能の検討・・・組織・業務の見直し
- ④ ユーザーの関心が高い映像情報(会議・セミナー等)の発信 → 国・地方・関係団体との連携を強化しコンテンツを発掘

# 有識者会議における検討事項(修正案)

## — 中長期的な検討課題 —



## 2. 中長期的な検討事項・・・数年～10年後の機構経営を見据えた検討を実施

### (1) 今後の機構経営を踏まえた地方公共団体におけるLascomネットのあり方

- ① 今後の衛星通信の展望及びサービス形態のあり方  
→ 国が主導する衛星施策との連携、EsBird、他の衛星サービス等、選択肢の中で検討
- ② 利用者(契約者)を市町村まで拡大(負担金のあり方を含めた検討 等)
- ③ トータルサービス提供(設備・アプリを含むサービスの提供)を前提とした諸課題の検討
- ④ ユーザーの「使い勝手・利便性の向上」に向けた検討(技術検討部会)
- ⑤ 新しい技術への的確な対応(技術検討部会)

### (2) 現行サービス提供下での諸課題

- ① 衛星携帯端末によるサービスの提供(技術検討部会)
- ② 一般網への接続サービス(技術検討部会)